

大藏省
御領
御用
御料

大藏省
御領
御用
御料

七月廿三日

貨幣條例備考ヲ刊行シ各廳ハ大藏省ヨリ頒布セシ

△

大藏省同

本月十四日貨幣條例御頒布ノ儀ニ付御布告案承調
相同候處已ニ廿五日公布相成候就テハ辛未年以來
本年ニ至リ五ヶ年間貨幣ニ関スル公布類ヲ蒐録シ
附スルニ新旧貨幣鑄造高外國貨幣比較價格表等
ヲ以テ別冊ノ通一部本トシ上本發賣為致候ハ、官
民參考ノ便利トモ被存候旨ヲ以テ貨幣條例ノ藏板ニ刊
行仕度段該寮ヨリ申立有之候右ハ先般新貨幣條例改
版ノ儀相同候節元左院財務課ヨリ照會ノ趣ニ應シ
承調候儀ニ付該寮申立ノ通別冊刊行發賣為仕度允

廿四

廿五

大藏省同

刊行ノ上布告全書御頒布ノ振合ヲ以諸官廳へ御頒
布相成候様仕度候間右需要ノ部數等御垂示有之度
依之別冊草稿相添此段相同候也 六月廿八日大藏
伺ノ趣聞屆候條刊行ノ上ハ於其省各廳へ頒布可致
事

但正院へ十五部可至出事 七月廿三日

大藏省回答 財務課宛

貨幣條例備考、儀ニ付昨日御掛合ノ末本日主任出
頭為致候慶右書中云々御尋問、趣致承知候へ旧
貨幣ノ書類ニ至テハ何分引継ノ精細書モ不相見且
今般編入ノ旧貨幣鑄造高寺ハ元金坐人佐藤忠三郎
當時出納寮 儀旧幕府凡解、際談坐書類ノ埋藏。憂
十五等出仕 爲志上ニテ僅ニ編纂致置候趣恐ハ此書ヨリ詳

田金坐人
佐藤忠三郎
編纂
（金朱抹上右ノ通）

即

細ニ取調候モノモ有之間敷方既ニ本人モ承諾ノ上
編入候譯ニ有之候候ニ私書ト相見ハ不都合ニ候ハ

舊貨幣鑄造高寺年限表 田金坐人佐藤忠三郎編纂

右朱抹ノ通改削印刷ノ方可然故存候間此邊御取計
有之度此段申進候也 七月八日大藏

財務課議案 内史本課歴査

別紙入藏省同貨幣條例備考刊行、儀右ハ官民、便
利ニ有之候ニ付左ノ通御指令相成可然哉仰高裁候
也 七月十日大藏

大藏省上申

貨幣條例備考上水頒布、儀昨八年六月相伺候慶同
年七月廿三日同、通御指令相成候ニ付其旨造幣寮

文貞

一相達置候處此程上木製本相成候ニ付當省乙第六
号ヲ以相達申候依テ列冊十五部相添此段上申候也
九年一月十五日 大藏

追テ貨幣條例備考卷末ニ記載有之候外國金銀貨
幣價格表、儀ハ旧造幣首長英國人キントル報告
書中ヨリ抄譯候ニ付原書ニ據リ我貨幣ニ比較改
算シ圖以下錢位ニ止、有之候處之ヲ以テ大數、
計算ヲ為スニ至リ頗ル差違ヲ生シ候間毛位迄存
シ上木仕候旨造幣權頭申出候依テ累日相同候草
案トハ右ノ魚脚差違有之候間尚上申置候也

大藏省布達府縣

今般貨幣條例備考致刊行候ニ付致頒布候條該書ノ
儀ハ大坂造幣寮藏版ヲ以各地書肆ニ於テ發賣可為

致候條此旨相達候事 九年一月十五日 大藏

緒言

太政維新ノ際官風ニ造幣寮ヲ建置シ辛未ノ五
月新貨條例ヲ頒布セシヨリ斯ニ從事スルモノ
殆ト五年遂ニ今日ニ至リ新貨ノ流通天下ニ遍
ク衆庶ノ耳目ヲ一新セシムルニ及ヘリ其間造
幣ノ規則例目等刪補スルモノ亦尠シトセス因
テ新貨條例ヲ改正シテ更ニ貨幣條例ヲ作レリ
刻既ニ成リ再ヒ之ヲ世ニ公ニス然リ而シテ辛
未已降造幣ニ關スル諸規則及ヒ公布ノ類考證
ニ備フ可キモノヲ摘抄シ併テ新舊貨幣鑄造ノ

總計及ヒ各國貨幣ノ品位重量等我貨幣ニ比較
セシ價格概表トモ今之ヲ蒐錄シ名ケテ貨幣條
例備考ト云フ以テ官民ニ便スト云爾

貨幣條例備考

目次

- 一新貨幣鑄造公布之事
附造幣規則
- 一新貨幣條例頒布之事
- 一新貨幣條例中量目表違算等更正之事
- 機械破損ニ付銀地金輸入斷之事
- 古金銀納入證券發行之事
附規則共

- 一 舊銅貨品位改定之事
- 一 壹圓金貨表面圖画改正之事
- 一 五錢銀貨表面圖画改正之事
- 一 造幣寮新機關及諸器械增加組立中休業之事
- 一 舊鍊錢價位改定之事
- 一 古金銀納入證券渡方規則中改正增補之事
- 一 造幣寮新機關并諸器械組立落成開業之事
- 一 金銀貨幣寸法改正并定位銀貨量目增加之事
- 一 流通不便之定位銀貨引換方之事
- 一 古金銀納入證券渡方規則中更正之事

貨幣

條例則施行之事

- 一 定位銀貨圖面改正之事
- 一 古金銀納入預リ證券廢止之事
- 一 銀壹圓貳分判造幣寮へ差出方之事
- 一 造幣寮地金受取方斷之事
- 一 同上期限短縮之事
- 一 貳錢銅貨增種且各種銅貨圖面寸法改正之事
- 一 造幣寮休業日限延期之事
- 一 新貨條例中新貨幣例目末條刪除造幣規則第四條改定之事

- 一 新銅貨發行之事
- 一 新貨條例中造幣規則第十四條追加之事
- 一 内外人民輸入之銀地金受取方始之事
- 一 銅貨幣海外輸出差許之事
- 一 貿易銀圖面改正之事
- 一 銅貨流通方之事
- 一 造幣規則第十四條追加ヲ第一條追加ニ改正之事
- 一 舊金銀貨幣價格比較表頒布之事
- 一 造幣規則第十條貿易銀鑄造手數料減方之事

- 一 貿易銀增量鑄造之事
- 一 同上ニ付内外人民輸入之銀地金所分之事
- 一 磨損等之貨幣引換方之事
- 一 同上引換手續之事
- 一 舊貨幣交換算則之事
- 一 造幣規則改正之事
- 一 貿易銀數位之事
- 一 創業ヨリ明治八年三月迄貨幣鑄造高
- 一 舊貨幣鑄造高并年限表
- 一 外國金銀貨幣價格概表

貨幣條例備考

○新貨幣鑄造公布之事

明治四年五月太政官達

通用貨幣之儀從來政府へ引揚吹替致來候處
今般普通之公理ニ被為基公平之御所置ヲ以
來ル辛未六月十六日ヨリ大阪造幣寮ニ於テ
尤之規則之通中外人民ノ望ニ應シ金銀地金
并古金銀又ハ外國貨幣等ニ至ル迄其名目ニ
拘ハラス都テ實價ニ比較改鑄シ貨幣相渡可

申事

○
造幣規則

第一條

造幣寮地金局ハ来ル六月十六日即西洋千八百七十一年第八月二日ヨリ迄ニ掲載スル休日ヲ除クノ外毎日朝第十字ヨリ午後第一字迄地金受取ノ為メ之ヲ開クヘシ

休暇表

毎日曜日

正月

元日ヨリ
三日マテ

正月七日

正月十五日

三月三日	五月五日	七月七日	七月
九月九日	九月廿二日	十二月	十月十四日ヨリ 十六日マテ
		廿六日ヨリ 三十日マテ	

第二條

萬一非常ノ變事ニヨリテ造幣ヲ休ム事アラハ勿論地金受取方ヲ斷ルヘシ

但此場合ニ於テハ速ニ其由ヲ布告スヘシ

第三條

品位并價格トモ詳明ナル金地金并外國金貨幣ハ百五十チンストロイ九一貫二百以上ノ高ナラハ地金局長即チ造幣權頭直ニ之ヲ受

取ルヘシ

第四條

品位并價格トモ詳明ナル銀地金并日本或ハ外國銀貨幣ハ二千オンストロイ九十六貫五以上ノ高ナラハ之ヲ受取り造幣規則ニ從テ本位金貨ヲ以テ拂ヒ渡スヘシ尤右地金持參ノ者一圓銀ヲ望ム時ハ造幣寮ノ都合ニヨリテ之ヲ渡スヘシ
銀地金ノ代リハ當分ノ内純銀十六ニ純金一ノ割合ヲ以テ拂フヘシ

第五條

品位并價格トモ詳明ナラサル金或ハ銀地金并外國金銀貨幣ハ假ニ受取置試験鑄解ノ上分析シテ其品位ト價格トヲ明ニシ造幣適當ノ品ナラハ之ヲ受取ルヘシ
但其高金地金ハ第三條銀地金ハ第四條ト同様タルヘシ尤造幣適當ノ品量ハ別ニ造幣寮ニ於テ取究ムル定則ニ從フヘシ
一分銀ヲ除クノ外日本金銀貨幣ハ都テ此條例ニ準スヘシ

第六條

右試験鎔解ノ上分析セシ金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣造幣不適當ナラハ之ヲ當人ニ返却シ試験鎔解并分析ノ手数料ヲ納メシムヘシ
試験鎔解并分析ノ手数料ハ造幣寮ニ於テ取究ムル定價ニ從テ納メシムヘシ

第七條

造幣寮ノ便宜ニヨリテハ造幣不適當ナル金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣ヲ唯精製ノ為メニ之ヲ受取ル事アルヘシ

第八條

但其高金地金ハ第三條銀地金ハ第四條ト同様タルヘシ尤右精製料ハ造幣寮ニ於テ取究ムル定價ニ從テ納メシムヘシ

造幣寮ニ於テ造幣ノ為メ金或ハ銀地金又ハ金銀貨幣受取濟ノ上ハ鑄造手数料ヲ引去リ
第四條ニ照準シテ本位金貨又ハ一圓銀ヲ以テ其受取りシ日ヨリ三十日間ニ拂フヘキ令状ヲ渡スヘシ

但右令状ノ高ハ日本人ハ大阪ニアル御用

為替坐外國人ハ同所ナル日本政府ノ外國
為替方「オリエンタルバンク」社中ニテ本文
日限中ニ拂ヒ渡スヘシ

第九條

本位金貨鑄造ノ手数料ハ當分ノ内百ニ付一
ナルヘシ

第十條

一圓銀鑄造ノ手数料ハ當分ノ内百ニ付二、ナ
ルヘシ

第十一條

金銀混合ノ地金在米二分金ノ類ハ此部内ニ屬スハ五百オシ
ストロイ凡四貫百以上ノ高ナラハ造幣寮ニ
於テ之ヲ預リ精製分析ノ上其價ヲ定メテ後
金ノ之ヲ請取ルヘシ

但右精製分析料ノ定方ハ第七條ノ手續通
タルヘシ

第十二條

磨損セシ本位金貨幣ハ千ニ付五、一圓銀ハ千
ニ付十ノ手数料ヲ差出ス上ハ其量目丈ノ價
ヲ以テ再鑄ノ為メ之ヲ受取ルヘシ

第十三條

一分銀ハ二千オンストロイ九十六貫五墨西
 哥ドルラルハ百オンストロイ九十八百二以上
 ノ高ナラハ再鑄ノ為メ各開港場ニ於テ之ヲ
 受取ルヘシ尤其他ノ金銀貨幣又ハ金或ハ銀
 地金ハ試験鎔解ノ上ナラテハ其品位定メ難
 ケレハ大阪造幣寮ニ限リ之ヲ受取ルヘシ去
 レ氏所持人ノ望ニヨリ追テ新貨幣ヲ拂ヒ渡
 スハ異論ナキ為メ左ノ證書裏面ニ記載セル
 造幣規則ノ下ヘ承諾ノ旨ヲ認メ自分ノ姓名

ヲ手記スレハ各開港場ニテモ之ヲ受取ルヘシ

受取證書雛形

千支何番
 品位未定
 一 金銀地金何斤
 凡積代價

此證書裏面ニ造幣規則ヲ
 掲載ス

右ノ高裏面ニ記載スル造幣規則ニ從テ造幣ノ為メ大阪造幣寮
 ニ送ルヘキニ付正ニ落手セリ但新貨幣渡方ノ儀ハ追テ造幣寮
 ヨリ申越通リタルヘン
 年号千支月日
 所持人名宛
 追テ試験鎔解ノ上造幣不適當ノ節ハ精製ノ額ヲ裁否豫メ
 書面ヲ以テ申立置ヘシ

姓 名 印

第十四條

右受取方神戸横濱ニテハ日本人所持ノ分ハ御用爲替坐外國人ハ外國爲替方ナリエンタルバンク社中ニ於テ取扱ヒ長寄箱館新瀉ハ日本人外國人共同所運上所ニ於テ取扱フヘシ

第十五條

大阪ヲ除クノ外各開港場ニテ日本及ヒ外國貨幣又ハ金或ハ銀地金ヲ納メ造幣ヲ望ム者ハ定日數三十日ノ外往返日數并運賃危難請

負等尤ノ畧表通り心得ヘシ

地名	往返日數	運賃並危難請負料
神戸ヨリ大阪マテ	二日	百ニ付〇、二五
横濱ヨリ同	十五日	百ニ付一、二五
長寄ヨリ同	十五日	百ニ付一、七五
新瀉ヨリ同	四十五日	百ニ付四、二五
箱館ヨリ同	三十日	百ニ付三、二五

第十六條

此規則實際試験ノ上要用ト思フ廉アレハ何時ニテモ猶改正追加スヘシ

貨幣條例

但其節ハ速ニ其由ヲ布告スヘシ
右ノ通相定候事

明治四年辛未五月 大蔵省

○新貨幣條例頒布之事

明治四年七月十三日太政官布告

此度新貨幣御發行相成候ニ付テハ各管内ヘ
御主意ノ趣篤ト貫徹致シ異說流言等ニ誤惑
不致様無洩説諭可致候儀テ此程頒布相成候
新貨幣條例猶又御渡相成候事

但不足ノ分ハ書肆ヨリ買上ケ管内普ク配
達可致候事

○新貨幣例目

一 新貨幣ノ稱呼ハ圓ヲ以テ起票トシ其多寡ヲ
論セス都テ圓ノ原稱ニ數字ヲ加ヘテ之ヲ計
算スヘシ但シ一圓以下ハ錢一圓ノ百分一ト厘一錢ノ百分一ト
分トヲ以テ少數ノ計算ニ用フヘシ
一 算則ハ都テ十進一位ノ法ヲ用ヒ一厘十ヲ合
シテ一錢トシ一錢十ヲ併セテ十錢トイヒ十

新貨幣條例

三

錢十百即チヲ以テ一圓トス一圓ヨリ上十百千
万ニ至ルトイフ凡皆十十數ヲ合シテ一位ヲ
進ム其他半錢五錢五十錢五圓ノ如キ八十數
ヲ半割シ二十錢二圓二十圓ノ如キモ亦一十
ノ數ヲ倍スルマテニシテ固ヨリ軌範ノ外ニ
出ス

一厘ヨリ以下ハ別ニ鑄造ノ貨幣ナシト雖モ若
シ計算ヲ要スレハ毛絲忽微纖ヲ以テ微小ノ
數ヲ算スヘシ又万ヨリ以上八十万百万千万
ニ至リ千万十即チ萬々ヲ以テ一億トシ大數

ノ計算ヲ為スヘシ

一新貨幣ト在來通用貨幣トノ價格ハ一圓ノ以
テ一兩即チ永一貫文ニ充ツヘシ故ニ五十錢
ハ二分即チ永五百文十錢ハ一兩ノ十分一即
チ永百文一錢ハ一兩ノ百分一即チ永十文一
厘ハ一兩ノ千分一即チ永一文ト相當ルヘシ
但シ二十圓十圓二十錢五錢半錢モ皆同様ノ
割合タルヘン

一製貨中金銀純分ノ割合及其量目ハ都テ真形
模寫ノ下ニ表出スルト雖モ鎔和鑄造ノ際僅

少ノ差アルヲ免カンス故ニ今各種ノ貨幣ニ
就テ其不得止シテ生スル量目ノ公差ヲ表出
シテ以テ毛絲ノ微細ヲ辨折ス

公目量									
位千分	純金	混合物	純金	重量	貨幣	全量	品位	量目	一枚差
二十圓	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	純金	二	二
十圓	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	混合物	二	二
五圓	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	純金	二	二
二圓	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	混合物	二	二
一圓	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	純金	二	二
	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	混合物	二	二
	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	純金	二	二
	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	混合物	二	二
	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	九百分	純金	二	二

表差	量目	大數差
七二、	四六六六	三、一一〇
四八、	三、一一〇	二、三三三
三六、	二、三三三	一、五五五
二四、	一、五五五	〇、七七八

表差	量目	大數差
九百	九百	九百
八分	八分	八分
八分	八分	八分
八分	八分	八分
八分	八分	八分
八分	八分	八分
八分	八分	八分
八分	八分	八分
八分	八分	八分
八分	八分	八分

一 ガラム ミリガラム オンス グレイント 日本量
目ノ比較ハ在来ノ秤量ニトリテ聊ノ差アリ
ト雖モ爰ニ其平均ヲ取テ之ヲ算シ左ノ畧表
ヲ以テ當分比較ノ定規トス

グラム メトリック	グレイントロイ	日本 錢
一ミリグラム 一グラム千分一	〇、一五四三 五四三 五四三 五四三	〇、〇〇二六六二
一センチグラム 一グラム百分一	〇、一五四三 五四三 五四三 五四三	〇、〇〇二六六二
一デシグラム 一グラム十分一	一、五四三二	〇、〇二六六二
一グラム	一五四三二	〇、二六六二
一デカグラム	一五四三二	二六六二
一ヘクトグラム	一五四三二	二六六二
一キログラム	一五四三二	二六六二
一ミリヤグラム	一五四三二	二六六二
日本量目	グラム メトリック	グレイントロイ

一 絲	〇、三七五六 ミリグラム	〇、〇〇五七九
一 毛	三、七五六 ミリグラム	〇、〇五七九七
一 厘	三、七五六 ミリグラム	〇、五七九七一
一 分	三、七五六 ミリグラム	五、七九七一
一 錢	三、七五六 ミリグラム	五、七九七一
一 匁	三、七五六 ミリグラム	五、七九七一
一 貫目	三、七五六 ミリグラム	五、七九七一
一 ケイン	凡一厘七毛二絲五忽	但一グレイントロイ
一 オンス	凡八忽二分八厘	但一オンス

一本位新貨幣ト外國貨幣トノ價格ハ其國ノ制
定ニヨリテ各小差違アリト雖モ暫ラク英佛
米三國ノ貨幣實價ノ品量ヲ較計スレハ左ノ
畧表ノ通ナルヘシ

貨幣	全量	差	配分	差
新貨十圓	二百五十萬圓	六分	十分中純金九 混合物一	英貨より多キ 純金五割ニシテ 混合物五割ニシテ 英貨五割ニシテ 混合物五割ニシテ
英貨二ポンド	二百五十萬圓	六分	十二分中純金十一 混合物一	英貨より多キ 純金五割ニシテ 混合物五割ニシテ 英貨五割ニシテ 混合物五割ニシテ
佛貨五十フラン	二百五十萬圓	六分	十分中純金九 混合物一	英貨より多キ 純金五割ニシテ 混合物五割ニシテ 英貨五割ニシテ 混合物五割ニシテ
米貨十ドル	二百五十萬圓	六分	十分中純金九 混合物一	英貨より多キ 純金五割ニシテ 混合物五割ニシテ 英貨五割ニシテ 混合物五割ニシテ

新貨幣通用制限

一本位金貨幣

即二十圓十圓五圓二圓一圓

ノ中一圓金ヲ以テ

原貨ト定メ各種トモ何レノ拂方ニモ之ヲ用

ヒ其高ニ制限アル事ナシ

本位トハ貨幣ノ主本ニシテ他ノ準據トナ

ルモノナリ故ニ通用ノ際ニ制限ヲ立ルヲ

要セス尤モ一圓金ヲ以テ本位中ノ原貨ト

定ムルトハ就中一圓金ヲ以テ本位ノ基本

ヲ定メ他ノ四種ノ金貨モ都テ標準ヲ一圓

金ニ取レハナリ

一定位ノ銀貨幣

即五十錢二十錢十錢五錢ニテハ都テ補助ノ貨

品ニシテ其一種又ハ數種ヲ併セ用フルトモ

一口ノ拂方ニ十圓ノ高ヲ限ル可シ

銅貨

即一錢半ハ都テ一口ノ拂方ニ一圓ノ高

ヲ限リ用ユヘシ

一定位トハ本位貨幣ノ補助ニシテ制度ニヨリ
テ其價位ヲ定メテ融通ヲ資クルモノナリ故
ニ通用ノ際之カ制限ヲ設ケテ交通ノ定規ト
ス
一各開港場貿易便利ノ為メ當分ノ内中外人民
ノ望ニ應シ一圓ノ銀貨ヲ鑄造シ之ヲ貿易銀
ト為シテ通商ノ流融ヲ資シヘシ
一此一圓銀ハ全ク各開港場輸出入物品其他外
國人ヨリ納ムル諸税及日本人外國人ト通商
ノ取引ニ用フルノミニシテ内地ノ諸税納方

等公ナル拂方ニ用フヘカラサルハ勿論其他
一般ノ通用ヲ得サルヘシサレトモ私ノ取引
ニ付相對ノ示談ヲ以テ受取渡シ致ス分ハ何
レノ地ニテモ勝手次第タルヘシ
一各開港場諸税受取方ニ付一圓銀ト本位金貨
トノ價格比較ハ當分銀貨百圓ニ付本位金貨
百。一圓ノ割合タルヘシ
一通用制限ハ元來貨幣ニ原本ト補助トノ別ア
ル所以ノ理ニ基キテ制定セシモノナレハ人
々取引ノ節右ノ制限ニ照準シモシ是ニ越レ

新貨條例

ハ誰ニテモ請取渡ヲ拒ムノ道理アルハシサ
レ氏私ノ取引ニ付便宜ノ為メ對談ヲ以テ請
取渡シ致候儀ハ全ク相互ノ都合ニ從フ筈ナ
レハ右制限ニ不拘勝手次第ニ交通致シ不苦
候事

辛未五月

大藏省

○新貨條例中量目表違算等更正之事

明治四年九月太政官達

先般御布告相成候新貨條例量目表中違算ノ

庶及ヒ行文ニ有之ニ付更正相加、別紙相達
候間此旨其管内へ布告可致候事(違算行文ハ
本書既ニ改
正セリ故ニ
別紙ハ署ス)

○機械破損ニ付銀地金輸入斷ノ事

明治四年十月廿五日太政官達

大阪造幣寮ニ於テ古金銀改鑄致シ候處豈計
ラン地金非常ニ幅濫シ晝夜運轉ノ餘リ機械
ヲ損シ候ニ付金地金ノ分ハ矢張受取改鑄可
致候得共銀地金ノ分ハ當分其機械修理相調

大藏省
金
付
算
書
（補入）

新貨條例

借債條例

ハ誰ニテモ請取渡ヲ拒ムノ道理アルハシサ
レ氏私ノ取引ニ付便宜ノ為メ對談ヲ以テ請
取渡シ致候儀ハ全ク相立ノ都合ニ從フ筈ナ
レハ右制限ニ不拘勝手次第ニ交通致シ不苦
候事

辛未五月

大藏省

（新貸條例中量目表違算等更正之事

明治四年九月太政官達

先般御布告相成候新貸條例量目表中違算ノ

應及ヒ行文モ有之ニ付更正相加、別紙相達
候間此旨其管内へ布告可致候事（違算行文ハ
正セリ故ニ）
別紙ハ器ス

付箋

此條を以て改正し、先般御布告相成候新貸條例量目表中違算ノ
事、御布告相成候新貸條例量目表中違算ノ
（補欠）

ラン地金非常ニ幅濫シ晝夜運轉ノ餘リ機械
ヲ損シ候ニ付金地金ノ分ハ矢張受取改鑄可
致候得共銀地金ノ分ハ當分其機械修理相調

借債條例補遺

迄ハ一切受取改鑄不致候此段相達候事

○古金銀納入證券發行之事

明治四年十二月十日太政官達

今般造幣寮ニ於テ古金銀預リ證券ヲ發行シ
之ヲ流融使用セシメ追テ定期ヲ以テ新貨ニ
交換セシムヘキニ付來ル十二月十五日ヨリ
古金銀所持ノ者ハ望次第造幣寮ヘ申立尤ノ
規則ニ準シ地金ヲ納メ證券受取候様可致事

古金銀納入證券渡方規則

第一則

古金銀又ハ混合ノ地金塊ヲ造幣寮ヘ納メ造
幣頭ノ預リ證券ヲ得ント欲スル者ハ地金ヲ
持参シテ其趣ヲ出納掛長官ヘ申立ツヘシ
古金銀又ハ地金塊ノ高ハ成貨ニシテ凡千圓
以上タラハ之ヲ受取ルヘシ

但舊貨幣ノ類タラハ既ニ公布セル通貨ニ
從ヒ混合ノ地金塊タラハ其純分ノ凡積ヲ
以テ假ニ其高ヲ見積ルヘシ

古金銀又ハ地金塊ノ受取方ハ造幣規則第一
條ノ日時通りタルヘシ尤其日ノ受取多寡ハ
造幣寮ニ於テ工事ノ都合ニヨリテ之ヲ取極
ムヘシ

第二則

右古金銀又ハ地金塊ハ納人立會ニテ其品類
及量目ヲ改メ出納掛長官之ヲ預リ假受取書
ヲ納人ニ渡シ置試験鎔解所ニ於テ試験分析
ヲ為シ其純分ヲ詳明ニシテ後預リ證券ヲ渡
スヘキ手續ヲナスヘシ

試験鎔解并分析ノ時間ハ遅クモ九日ヲ以テ
限ルヘシ尤造幣頭承認ノ分析表ノ添テ其納
人へ渡スヘシ
鎔解ノ工事ニ於テ若シ量目鎔減スレハ其減
分ハ納人ノ受持タルヘシ

第三則

試験鎔解并分析ノ上其地金ノ品量詳明ナレ
ハ出納掛長官ハ其品量ニ應シテ全量ノ中ヨ
リ定則ノ試験分析料、精製料、鑄造料、及證券發
行ノ費用ヲ引去リ其殘量ヲ以テ新貨ノ高ヲ

算出シ預リ證券渡方ノ令状ヲ認メ之ヲ納人
ニ渡シ前ニ渡セシ假受取書ヲ返収スヘシ
若シ地金納人右ノ試験分析ヲ充分ナラスト
シテ預リ證券ヲ受取ル事ヲ望マサレハ其地
金ハ鎔解ノ儘之ヲ返却シ試験分析料ノミヲ
納メシムヘシ
混合地金ノ銀分ハ十六、ヲ以テ金一、ニ替エヘ
シ
試験分析料ハ金銀共千ニ付一、精製料ハ
所ニ於テ定鑄造料ハ百ニ付一、證券發行ノ費
分現今

用ハ千ニ付五、ナルヘシ

第四則

地金納人ハ出納掛長官ヨリ渡セシ令状ヲ以
テ證券掛ヘ申出令状ト引換ニ其高丈ケノ預
リ證券ヲ受取ルヘシ
此證券掛ハ大阪ニ在ル為換坐三井組、并同所
ノ為換方、ニ於テ取扱ハシムヘシ

第五則

此預リ證券ノ金高名稱ハ金五圓、金拾圓、金二
拾圓、金五拾圓、ノ四種タルヘシ

第六則

此預リ證券ハ所持人ノ都合ニヨリ賣買勝手タルニ付引換期限前ニテモ差支ナク之ヲ通用スヘシ

但シ取引ノ節ハ預リ證券ノ番號ト其取引先ノ姓名トヲ互ニ心覺ノ為ニ書留メ置クヘシ

第七則

此預リ證券ハ發行ノ日ヨリ二十四个月ヲ以テ通用ノ定限トシテ都テ新貨ヲ以テ之ヲ引

替ユヘシ尤發行ノ日ヨリ六个月以後タラハ持參次第何時ニテモ左ノ場所ニ於テ之ヲ新貨ニ交換スヘシ

東京 大阪 為換坐三井組

東京 大阪 為換方

但シ其節ノ都合ニヨリ横濱神戸ニ在ル為換坐及西京為替方ニテモ之ヲ引替ユヘシ

第八則

此預リ證券ハ引換ノ期限即チ發行ノ日ヨリ六個月以後ハ大藏省ヘ可差出諸租税上納金等ニモ差支

仁濟院例

ナク之ヲ用ユル事ヲ得ヘシ

但海關ノ諸税ニハ之ヲ受取ラス

第九則

此預リ證券ヲ贋造スル者贋造セント謀ル者
又ハ贋造ヲ助クル者又ハ贋造ナルヲ知リテ
通用セシマル者ハ何等ノ人ヲ論セス國法ニ
從フテ之ヲ嚴科ニ處スヘシ
右之通規則相定候事

辛未十一月

大藏省

○舊銅貨品位改定之事

明治四年十二月太政官達

舊銅貨之儀去ル辰年定價被 仰出候處今般
新貨幣御發行ニ付各種比較商量之上當今尤
之通品位被相定候條其旨相心得新貨幣并金
札共取交聊無差支通用可致事

新貨并金札之比較

新貨壹圓	金札壹兩ニ當ル
新貨五拾錢	金札貳分ニ當ル
新貨貳拾五錢	金札壹分ニ當ル
新貨拾貳錢半	金札貳朱ニ當ル

仁濟院例

三

金貨の形

三十三

新貨六錢貳厘五 金札壹朱ニ當ル

舊銅貨品位

八厘錢



拾枚ヲ以テ八錢トス

百二十五枚ヲ以テ壹圓ニ換ル
六十二枚ト二厘錢二枚ヲ以テ五十錢ニ換ル
三十一枚ト二厘錢一枚ヲ以テ二十五錢ニ換ル
但十二錢半六錢二厘五モ右ノ割合
タルヘシ以下同断

二厘錢



拾枚ヲ以テ二錢トス

青波錢ト唱ヘ元四文錢ナリ

五百枚ヲ以テ壹圓ニ換ル
二百五十枚ヲ以テ五十錢ニ換ル
百二十五枚ヲ以テ二十五錢ニ換ル

壹厘半錢



拾枚ヲ以テ壹錢半トス

波錢ニテ元四文錢ナリ

六百六十七枚ヲ以テ壹圓ニ換ル
三百三十四枚ヲ以テ五十錢ニ換ル
百六十七枚ヲ以テ二十五錢ニ換ル

壹厘錢



拾枚ヲ以テ壹錢トス

耳白錢或ハ其外元壹文錢ナリ

千枚ヲ以テ壹圓ニ換ル
五百枚ヲ以テ五十錢ニ換ル
二百五十枚ヲ以テ二十五錢ニ換ル

右ハ本位ノ新貨幣ト新銅貨トノ比例ニヨリ
テ定ムルカ故ニ一種又ハ數種ヲ併セ用ユル
トモ一口ノ取遣リ一圓ノ高ヲ限リ用ユヘシ

貨幣條例備考

三十三

但壹圓ノ高ヲ越レハ是ヲ拒ムノ權アルヘ
シ尤相互ノ便宜ニ依テ取遣リスル時ハ右
制限ニ拘ハラス勝手タルヘシ
右之通相定候事

○壹圓金貨表面圖畫改正之事

明治五年二月五日太政官第三十四號達

先般布告及ヒ候新貨條例中本位金貨壹圓表
面圖中丸龍ノ模様ニ候處今般壹圓ト文字ニ
被改候條此旨為心得相達候事

但左ノ圖面ノ通

本位金貨壹圓

表



○五錢銀貨表面圖畫改正之事

明治五年三月八日太政官第七十四號達

先般布告及ヒ候新貨條例中定位銀貨五錢表
面圖中丸龍ノ模様ニ候處今般五錢ト文字ニ
被改候條此旨為心得相達候事

但左ノ圖面之通

定位銀貨五錢

表



○造幣寮新機關及諸器械增加組立中休業之事

明治五年五月十二日太政官第百五十二號達
新貨幣鑄造之儀今一層御興隆相成候ニ付テ
ハ新機關及ヒ諸器械等增加相成候間来ル六
月十日ヨリ器械組立落成迄内外人民ヨリ差
出シ候地金受取方致サス候條此段為心得相

達候事

但六月十日以前ニ受取候地金ノ分ハ七月
中旬迄ニ成貨ニ致シ可相渡候事

○舊錢錢價位改定之事

明治五年九月廿四日太政官第百八十三號達
新貨幣御發行ニ付去辛未十二月中舊銅貨之
定價被 仰出候處猶今般舊錢錢之價位當分
左之通被相定候條其旨相心得新貨幣并金札
共取交聊差支ナク可致通用事

舊錢錢價位

精鑄錢ト唱三元四文錢



鑄錢ト唱三元四文錢ナリ



四千枚ヲ以テ新貨五十錢ニ換ル
 千六百枚ヲ以テ新貨二十錢ニ換ル
 八百枚ヲ以テ新貨十錢ニ換ル
 四百枚ヲ以テ新貨五錢ニ換ル
 八十枚ヲ以テ新貨壹錢ニ換ル
 八枚ヲ以テ新貨壹厘ニ換ル

八千枚ヲ以テ新貨五千錢ニ換ル
 三千二百枚ヲ以テ新貨二千錢ニ換ル
 千六百枚ヲ以テ新貨十錢ニ換ル
 八百枚ヲ以テ新貨五錢ニ換ル
 百六十枚ヲ以テ新貨壹錢ニ換ル
 十六枚ヲ以テ新貨壹厘ニ換ル

右ハ新貨幣トノ比較ニヨリテ之ヲ定ム尤錢
 錢一種或ハ兩種ヲ併セ用フルトモ一口ノ取

造リニ新貨五十錢ノ高ヲ限リ用フヘシ

但新貨五十錢ノ高ヲ越レハ之ヲ拒ムノ權
 アルヘシ然レモ相互ノ便宜ニヨリテ取遣
 リスル時ハ右制限ニ拘ハラズ勝手タルヘ
 シ

右之通相定候事

○古金銀納入證券渡方規則中改正増補之事
 明治五年十月二日太政官第二百九十七號達
 是迄造幣寮ニ於テ發行致候古金銀預リ證券

之儀ハ古金銀混合地金而已ニ限リ引換來候
處今般右證券渡方規則中左之通改正増補致
シ候條以來精惡トモ貳分判所持之者バ望次
第造幣寮ヘ申立規則ニ準シ地金ヲ納メ證券
請取候様可致事

○

古金銀納入證券渡方規則

第一則中掲載古金銀又ハ地金塊ノ高ハ成貨
ニシテ凡ソ千圓以上ナラハ之ヲ受取ルヘシ
改正二千五百圓以上ヲ受取ヘシ

第七則中掲載預リ證券ハ發行ノ日ヨリ六個
月以後タラハ持参次第新貨ニ交換スヘシ
改正三個月以後タラハ新貨ニ交換スヘ
シ

増補二則

第一則

精二分判五千兩以上ノ高ナラハ證券引換ノ
為メ之ヲ受取ヘシ

第二則

惡二分判一万兩貳分判ノ以上ノ高ナラハ證

券引換ノ為メ之ヲ受取ヘシ

但兩則共受取方手續キ精製料等都テ古金
銀混合地金塊ノ通リタルヘシ
以上

壬申十月

大藏省

○造幣寮新機關并諸器械組立落成開業之事
明治五年十月十七日太政官第三百十一號達
大阪造幣寮中新機關并諸器械等据付方及落
成候間當月廿日ヨリ内外人民之地金受取方

相始候條此段為心得相達候事

○金銀貨幣寸法改正并定位銀貨量目增加之
事

明治五年十一月十四日太政官第三百四十一號
達

新貨幣之儀金貨ヲ以テ本位ト相定メ從テ五
十錢以下定位銀貨量目之儀モ本位壹圓金ノ
秤量ニ准據シ鑄造致来候蒙今般御詮議之筋
有之五十錢以下定位銀貨之儀更ニ別紙畧表

之通量目相増候且金貨幣并銀貨五十錢二十
 錢之儀今般更ニ徑ヲ縮メ厚ヲ増シ是亦別紙
 畧表之通寸法改正致シ候條此段為心得相達
 候事

壬申十一月

太政官

金銀貨幣寸法改正
 定位銀貨量目増加畧表

貨幣	徑曲尺	量目	性合
二十圓	一寸一分五厘七毛	日本、八分七厘三毛五七 西洋五百十四分三厘六毛七	金
十圓	九分七厘一毛 改正九分七厘	日本、四分四分三厘六毛七 西洋二百五十七分三厘二	金

五圓	七分八厘七毛 改正七分二厘	日本、二分一分一厘八毛三九 西洋百二十八分三厘六	一銅
二圓	五分七厘七毛 改正五分六厘	日本、八分八厘七毛三二 西洋五十一分三厘四	
一圓	四分四厘六毛 改正四分	日本、四分四分三厘六毛七 西洋二十五分三厘七	二銅
五十錢	一寸〇四厘 改正一寸〇二厘	日本、三分二分三厘九毛二五 西洋百九十三分三厘二五	
二十錢	七分七厘 改正七分四厘	日本、一分二分三厘一毛七 西洋七十一分三厘七	銀
十錢	五分八厘	日本、六分六厘五毛八五 西洋三十八分三厘六	
五錢	五分	日本、三分三厘七毛六 西洋十九分三厘二五	銅
		日本、二分三厘一毛八 西洋十二分三厘八	

○流通不便之定位銀貨引換方之事

明治五年十一月十八日太政官第三百五十三號
達

是迄成貨包紙ノ糊銀ニ觸レ酸化シテ錆ヲ生
シ往々見苦敷貨幣有之或ハ貨幣ノ端ニ割目
等有之響キ惡キ分ハ人々疑ヲ抱キ流通不便
ノ趣相聞候間向來右様流通不便ノ定位銀貨
ハ造幣寮并東京大阪第一國立銀行へ持参次
第正否相改贋品ニ無之分ハ引替可遣候條此
段相達候事

○古金銀納入證券渡方規則中更正之事
明治五年十一月十九日太政官第三百五十五號
達

造幣寮發行證券規則中混合地金ノ銀分ハ十
六ヲ以テ金一二替ユヘシト有之候處今般御
詮議之筋有之尤之通更正致シ候條此段為心
得相達候事

○古金銀納入證券渡方規則

第三則中掲載混合地金ノ銀分ハ十六ヲ以テ

金一ニ替ユヘシノ一條ヲ刪去更ニ如左改正
混合地金中ノ銀分ハ一圓銀ノ割合ヲ以テ
算計シ造幣寮ノ都合ニ依リ金貨或ハ銀貨
ヲ以テ渡スヘシ

○貨幣出納算例則施行之事

明治五年十一月廿四日太政官第三百六十三號
達

新貨幣追々及流通候ニ付テハ歲入歳費等計
算出納之方法別紙例則之通相心得明治六年

一月一日ヨリ可施行此旨相達候事

○貨幣出納算例則

第一則

舊貨幣或ハ楮幣中兩分米等ノ稱呼之アル種
類ニテ上納又ハ諸渡方ノ分氏總テ新貨幣ノ
數ヲ以テ計算諸簿冊計表等ヘ記載スヘシ

第二則

新貨ト舊貨トノ價格比較ハ前ニ御頒布ノ新
貨條例ニ照準シ且歲入歳費等出納ノ現額厘

位ニ止メ四捨五入タルヘシ
四捨五入ノ法算
面乘除シテ四毛
 迄ハコレヲ捨テ五毛以上ハ例ニ依テ壹厘但シ
ニ加フルヲ云以下捨入ノ例之ニ依テ壹厘但シ
 平均相場等ノ如キ其物品ニ乗シ代價多クノ
 差數ヲ生スルノ類及ヒ其他計算上ニハ毛絲
 迄ヲ用フルモ妨ケナシ捨入前ニ同シ

第三則

新貨員數ノ多少ニヨラス各其額員ノ首メニ
 金ノ字ヲ認ムヘシ譬ヘハ金若干圓幾錢幾厘
 或ハ金幾錢幾厘ト認ムヘシ

第四則

舊貨幣或ハ楮幣取交出納ノ節證書ノ類ヘハ
 左ノ如ク記載スヘシ

金若干圓幾錢幾厘

此新貨若干圓幾錢旧銅貨價位改定ノ數ヲ以テ算スヘシ
 舊貨若干兩幾分幾錢幾厘

或ハ金若干圓

此舊札若干兩

或ハ金若干圓幾錢

但新札

此他證券モ右例ニ依ヒ記載スヘシ
 第五則

細方貢金従前ノ額員四捨五入ノ法ヲ以新貨
ノ厘止メニ改メ且貢金一反ニ付テノ當リ計
算上ニハ毛迄ヲ用ヒ四捨五入トシ數尾ニハ
捨ハ余入ハ内ト記シ以捨入ヲ分ツヘシ

第六則

雜稅名目中山手永野錢等ハ山手稅野稅トシ
此他永或ハ錢ノ稱呼アルモノ稅名改メ難キ
ハ其金ト唱ヘ替従前ノ額員四捨五入ノ法ヲ
以テ新貨ノ厘止メニ改ムヘシ

第七則

前條ノ外宿驛人馬賃錢或ハ船賃橋錢等ノ如
キ其定額公ニ關スルノ類ハ總テ前ノ例ニ準
シ之ヲ改メ若シ決シ難キ事由アラハ委詳取
調大藏省ヘ伺出ヘシ但シ人民相對ヲ以私ノ
取引ハ此限ニ非ス暫ク其便宜ニ任スヘシ

第八則

楮幣中金壹朱或ハ舊銅貨一厘半錢等各厘下
五毛ノ數ヲ存スルモノハ同種或ハ各種ヲ併
セ厘位ニ滿テ、出納スヘシ

小冊子

三

○定位銀貨圖面改正之事

明治六年二月十日太政官第四十六號達

壬申第三百四十一號布告定位銀貨幣量目增
相成候ニ付向來鑄造之五十錢以下定位銀貨
幣ノ模様別紙圖面ノ通改正候條此段為心得
相達候事

定位銀貨幣改正圖面

十五
表



二十錢貨十錢五錢貨之準

明治六年

錢
裏
貨



右各種貨幣ノ寸法量目等ハ壬申十一月中相
達候通

○古金銀納入預リ證券廢止之事

明治六年五月廿八日太政官第百七十六號達
造幣寮ニ於テ古金銀預リ證券ヲ發行候段辛
未十一月及布告候處廢止候條此段為心得相

明治六年

三

達候事

○銀臺質貳分判造幣寮へ差出方之事

明治六年六月八日太政官第百九十二號達

戊辰絃擾ノ際一時流通ノ銀臺質二分判ノ儀
是迄造幣寮へ持参ノ節ハ同寮發行ノ預リ證
券ヲ以テ交換致遣候處今般預リ證券發行廢
止ニ付テハ向後同寮へ質金持参高一万兩以
上ノ分ハ速ニ鎔解シ品位價格ヲ定メ改鑄時
間ヲ待タス分析等ノ費用ヲ引去直ニ代價可

拂渡候條質金儲蓄ノ者ハ造幣寮へ差出候様
可致候此段相達候事

○造幣寮地金受取方斷之事

明治六年七月廿五日太政官第二百六十八號布
告

大阪造幣寮ニ於テ貨幣鑄造地金收納ノ儀本
年九月一日ヨリ同十一月十五日迄一切相斷
候條此旨布告候事

○同上期限短縮之事

明治六年七月三十日大蔵省第百十六號達
大阪造幣寮ニ於テ地金收納之儀來ル九月一
日ヨリ相斷候旨太政官第二百六十八號ヲ以
御布告相成候處今般更ニ詮議ノ筋有之來九
月十六日ヨリ十一月十五日迄地金收納相斷
候條此旨為心得相達候事

○貳錢銅貨増種且各種銅貨圖面寸法改正之
事

明治六年八月廿九日太政官第三百八號布告
辛未年中頒布新貨條例中銅貨幣ノ儀ハ壹錢
半錢壹厘ノ三種ニ候處今般人民ノ便利ヲ謀
リ更ニ貳錢ノ壹種ヲ加ヘ且各種ノ圖面等モ
別紙雛形ノ通改正鑄造候條此旨布告候事

改銅貨圖面寸法并量目表

銅	表		以十五枚	徑曲尺	日本 一寸。五厘 英 一インチ二五
二					

○造幣寮休業日限延期之事
明治六年十月七日太政官第三百三十四號布告

銅貨		貨錢
一厘	一厘表	裏
		
圓一換枚千以		圓一換
目量	徑曲尺	目量
日本 二分四厘一毛五 英 十四ゲレイン	日本 五分二厘 英 〇インチ六二	日本 九分四厘八毛七五 英 五十五ゲレイン

銅貨		貨錢
半	一厘表	裏
		
枚百二以	圓一換枚百以	
徑曲尺	目量	徑曲尺
日本 七分二厘 英 〇インチ八七	日本 一匁八分九厘七毛五 英 百十。ゲレイン	日本 九分二厘 英 一インチ一。
		日本 三匁七分九厘五毛 英 二百二十。ゲレイン

大阪造幣寮ニ於テ地金收納ノ儀ニ付本年第
二百六十八號布告并大藏省第百十六號布達
候處今般詮議ノ筋有之来ル十一月三十日迄
同寮休業候條此旨更ニ布告候事

○新貨條例中新貨幣例目末條刪除造幣規則
第四條改定之事

明治六年十二月十九日太政官第四百十二號布
告

新貨條例中新貨幣例目ノ末條ハ刪去シ造幣

規則第四條ハ尤ノ通改定候條此旨布告候事

○

品位并價格共詳明ナル銀地金并日本或ハ外
國銀貨幣ハ二千オンストロイ凡十六貫五
上ノ高ナラハ之ヲ受取造幣規則ニ從テ一圓
銀ヲ以テ拂ヒ渡スヘシ

○新銅貨發行之事

明治七年一月十三日太政官第四號布告

銅貨幣之儀昨明治六年八月第三百八號ヲ以

テ各種圖面相添及布告置候通追々鑄造相成
候ニ付本年二月一日ヨリ令發行候條此旨布
告候事

○新貨條例中造幣規則第十四條追加之事

明治七年二月十七日太政官第二十號布告

新貨條例中造幣規則第十四條尤之通追加候
條此旨布告候事

第十四條

ニ毎年九月一日ヨリ十一月十五日迄閉寮地
金受取方相斷候事

○内外人民輸入之銀地金受取方始之事

明治七年三月十三日大藏省第二十六號達

本月十六日ヨリ大阪造幣寮ニ於テ内外人民
ヨリ輸入ノ銀地金請取方相始候條此旨布達
候事

○銅貨幣海外輸出差許之事

貿易銀圖面改正之事

明治七年三月十七日太政官第三十三號布告
銅錢ノ儀ハ海外輸出禁制ノ處自今金銀貨同
様海外輸出差許候條此旨布告候事

○貿易銀圖面改正之事

明治七年三月廿日太政官第三十四號布告
大阪造幣寮ニ於テ鑄造ノ貿易銀圓自今別紙
圖面ノ通模様改正候條此旨布告候事
但銀地金ヲ出シ改鑄願出候節若シ同寮ニ
於テ地金高凡一個月間ノ工程ニ充ツ時ハ

受取相斷リ追テ工程見積リ順序ヲ以テ地
金可受取事

改正貿易銀圖面

貿易銀

一圓

裏

表



徑
尺曲

量
目

性
合

一寸二分四厘

日本七々一分七厘六毛
西洋四百十六グレイシ

銀九銅一

北政官第三十四號布告

四十一

○銅貨幣流通方之事

明治七年三月廿二日太政官第三十五號布告
今般銅貨幣發行候ニ付テハ舊銅貨品位歩合
有之候趣申唱ヘ不融通ヲ釀成候由相聞候右
ハ明治四年辛未十二月中布告候通舊銅貨品
位一定有之上ハ右品位ニ比較シ聊無差支一
般取引可致ハ勿論ノ儀ニ候處右等歩合申唱
ヘ候段以ノ外ノ事ニ候條心得違無之様可致
候此旨布告候事

○造幣規則第十四條追加ヲ第一條追加ニ改
正之事

明治七年三月廿三日太政官第三十六號布告
本年^ニ第二十號布告造幣規則第十四條追加
ヲ第一條追加ニ改正候條此旨更ニ布告候事

○舊金銀貨幣價格比較表頒布之事

明治七年九月五日太政官第九十三號布告
明治元年閏四月中舊貨幣價格比較ノ儀布告

候處今般更ニ造幣寮ニ於テ精細分析ノ上別冊ノ通改定シ來明治八年十二月迄新貨ト交換候條所持ノモノハ各地方廳へ引換方可申出右期限中海關稅ヲ除クノ外租稅其他一般ノ公納ニ相用候儀ハ不苦人民相互ノ取引ハ自今今廢止候條此旨布告候事

舊金銀貨幣價格比較表

今般舊金銀貨幣價格比較表ヲ製シ以テ徧ク天下ニ頒布スル所以ノモノハ金銀舊貨ノ猶民間

ニ散布藏匿シテ改鑄ヲ得サルモノ少ナカラズ大ニ貨幣ノ真理ヲ失ヘル事ヲ懼レテナリ曩ニ戊辰ノ初メ官風ニ貨幣取調書ヲ頒布シ廣ク世ニ公ニスト雖其事皆造幣開業以前ノ舉ニ係リ一時在來舊貨幣ノ標準ヲ立ツル迄ニテ其依ル所ノモノハ當時通用二分判一兩ヲ以テ主本トナシ比例ヲ立テ價位ヲ定ムルモノニシテ今日發行ノ本位貨幣ニ比スレハ其金銀純分ニ至リテ稍増加アルヲ免レス試ミニ二分判百兩ヲ取リ精製鑄造スルニ其費用ヲ除キ去リ猶平均ハ

圓内外ノ剩差ヲ生スルヲ以テ自然其價格モ一定セス民間ノ賣買實際疑惑ヲ生シ或ハ舊貨幣ヲ以テ非常高價ノモノト心得一意ニ之ヲ庫中ニ藏匿シ通寶ノ利用ヲ閉チ貿易ノ能力ヲ失ハシム依テ今般造幣寮ニ於テ再ヒ慶長以下大小各種ノ舊貨幣ヲ集メ一切精密ニ試験分析シ各種毎ニ其品位量目ヲ詳ラカニシ本位一圓金貨ヲ以テ主本トナシ各其價格ヲ定メ更ニ別冊ノ通價格比較表ヲ製セリ就テハ自今舊貨幣ヲ儲藏スルモノハ右比較ヲ標的トシ速ニ改鑄スヘ

シ如シ夫レ其身僻遠ノ地ニ在ル歟又ハ其儲フル所ノモノ少數ニシテ改鑄ニ便ナラサルモノ等ハ今般布告ノ旨ニ隨ヒ一切政府ノ公納ニ換用シ或ハ通用貨幣ト交換シ空シク庫中ニ藏匿セシムルノ弊ヲ除キ去リ世ノ有用ヲ妨害スル勿ルヘシ猶丁銀小玉銀ノ如キアリト雖凡量目品位雜駁ニシテ一定セズ隨テ一箇ノ價格ニ至リ各不同ヲ生シ豫メ之ヲ定メ難シ故ニ比較表中ニ不掲候條一般ノ地金ト見做シ可申此旨相達候也

明治七年八月

大藏卿大隈重信

凡例

一表中ノ上段ニ各種ノ舊貨幣一個ノ價ヲ掲載スルハ凡テ舊貨幣ヲ公納シ或ハ兌換スルニ當リ爾來兩分朱ノ呼稱ヲ廢シ個數ヲ以テ算スレハナリ

一表中ノ下段ハ舊貨幣ノ量目品位及ヒ改鑄ノ費用ヲ詳明ニシ之レヲ新貨幣ト比較シ價格ノ由ツテ出ツル所ヲ瞭然タラシム

一量目ニ用ユル一^{オウ}ハ凡ソ我ハ奴二分八厘ニ當ル如シ新舊貨幣ノ價格ヲ計算セント欲セハ其詳カナルハ新貨條例ニ就キ參考スヘシ

慶長
武藏

小判 一個 十。四。六錢四二
分判 一個 二四五十一錢六。

正徳四年間所作ニ係ル因テ世ニ之ヲ正徳金トモテ

慶長金小判 十兩量目五^{オウ}七二六二
武藏一分判 内 金四^{オウ}八五二四 位十分中 銀^{オウ}八四。五 新^{オウ}。。六
此新貨百。二圓五十四錢九八四
内 七十六錢九一二 精製令折料
内 一四。二錢五九三 鑄造令折料
十。錢二五五 試驗令折料
殘百。圓六十四錢二二四

元禄

元禄 小判一個 六圓八十六錢五七
一分判一個 一圓七十一錢六四
二朱判一個 八十五錢八二

乾字 小判一個 五圓十五錢六五
一分判一個 一圓廿八錢九一

元禄金 小判 十兩量目五分七二五二
二朱判 金五六一、一
銀二四六、七二 位千分中 銀四三、九
雜。〇、四、〇

此新貨六十九圓九十八錢三九一
內 五十二錢八八
七十三錢一四七
六錢九九八
費用前同
殘六十八圓六十五錢七五八

乾字金 小判 十兩量目三分〇一二二
一分判 金八三四、〇
銀。〇四九六、三 位千分中 銀一六五、五
雜。〇、〇、五
此新貨五十二圓五十四錢三。八
內 三十九錢四。七
五十三錢一八。〇
五錢二五五
費用前同
殘五十一圓五十六錢四六六

享保 小判一個 十。四十二錢五六
一分判一個 二圓五十二錢八九

元文 小判一個 五圓七十五錢八九
一分判一個 一圓四十三錢九七

享保金 小判 十兩量目五分六九五二
一分判 金八六七、〇
銀。〇七五五、四 位千分中 銀一三三、五
雜。〇、〇、五
此新貨百。三圓。七錢二四七
內 七十七錢三。四
一四。四錢。三七
十。錢三。七
費用前同
殘百。一圓十五錢五九九

元文金 小判 十兩量目四分九六四四
一分判 金六五三、二
銀一分四八九三 位千分中 銀三四五、三
雜。〇、一、五
此新貨五十八圓六十九錢三七四
內 四十四錢。二。
六十。錢五五二
五錢八七。
費用前同
殘五十七圓五十八錢九三三

文政二分判一個二圓五十二錢三六

真文正云
文政二分判十兩量目四分二五九二

內金二分三六七九三 位千分中 金五六三〇
銀一分八二九五七 位千分中 銀四三五〇
雜〇〇二〇

此新貨五十一圓四十四錢七二五

內三十八錢五八五
五十三錢七九三
五錢一四四
費用前二同

殘五十圓四十七錢二〇三

艸文正云
文政金一分判十兩量目四分二五二〇

內金二分三三七九三 位千分中 金五五九四
銀一分八四八七四 位千分中 銀四三八六
雜〇〇二〇

文政小判一個五圓二錢九二
一分判一個一圓二十五錢七三

此新貨五十一圓二十六錢四四八

內三十八錢四四八
五十三錢六三四
五錢一二六
費用前二同

殘五十圓二十九錢二四〇

一朱金 一個十六錢一

一朱金 十兩量目七分一五〇〇

內金一分八八二六 位千分中 金一二三一
銀六分二四九一 位千分中 銀八七四〇
雜〇〇二九

此新貨二十六圓二十六錢二六七

內二十七錢五七六
三十四錢二七四
一錢六二六
費用前二同

殘二十五圓六十一錢七九一

艸文正云
文政二分判十兩量目四分二五五六

內金二分五二五八 位千分中 金四八七六
銀二分一五一八 位千分中 銀五一一一
雜〇〇一四

文政二分判一個二圓廿二錢二七

此新貨四十五圓三十二錢二九

內三十三錢九九〇
四十八錢七八
四錢五三二
費用前二同

殘四十四圓四十五錢四二九

天保小判一個四四三六錢六二
一分判一個一四。九錢一五

古二朱金 一個三十六錢四五

保字天保金小判十兩量目三兮六二二四

内 金三兮。四九八九 位千分中 金五六七五
銀一兮五五八六四 銀四三二五

此新貨四十四圓五十。錢四九四

内 三十三錢三七九
四十六錢五。三 費用前二同

殘四十三圓六十六錢一六一

古二朱金 十兩量目四兮一九八九四

内 金一兮三三三九六 位千分中 金二九八四
銀二兮九三六八四 銀六九九九

此新貨二十九圓七十四錢九三四

内 二十二錢三二二
三十三錢五二六 費用前二同
二錢九七五

殘二十九圓十六錢一三一

五兩判 一個 十圓半。錢四

五兩判 一枚量月一兮。八四六二

內 金。兮九。八三。位十分中 金八三七五
銀。兮一七四。八 銀一六。五

此新貨十九圓。五錢九二六

內 十四錢二九四
十九錢二八二
一錢九。六

費用前同

殘十八圓七十。錢四四四

正字正六
安政金 小判 十兩量目二兮八九。一。

內 金一兮六四六四九 位十分中 金五六九七
銀一兮三三五四 銀四二八。一

此新貨三十五圓七十二錢八三五

內 二十六錢七九六
三十七錢三二五
三錢五七三

費用前同

殘三十五圓。五錢一五一

安政 小判 一個 三四五十。錢五一
一分判 一個 八十七錢六三

安政二分判一個九十五錢。三

新小判一個一四三十。錢四三
一分判一個三十二錢六一

安政二分判十兩量目一兮六六六八

內金。兮五八七六 位千分中 金二。九二
銀。兮八六六。 銀七。八八七 雜。二。二

此新貨十九圓四十。錢一二四

內 十四錢五五一
二十三錢。六九
一錢九四。 費用前同

殘十九圓。五六四

新小判十兩量目一兮六六六四

內金。兮六三三四 位千分中 金五。七三六
銀。兮五三三三 銀四。二四。 雜。二。四

此新貨十三圓二十九錢五二七

內 九錢九七一
十三錢。八七六
一錢三二九 費用前同

殘十三圓。四錢三五

新二朱金 一個十三錢六一

新二朱金 十兩量目一兮九三八二

內金。兮四四三八 位千分中 金二。二九。
銀。兮四九。四八 銀七。六九。 雜。二。二。

此新貨十一圓十一錢四六六

內 八錢三三六
十三錢。二六
一錢。一一 費用前同

殘十。圓八十八錢九九三

新二分判 十兩量目一兮九三六四

內金。兮四四二五九 位千分中 金二。二八五
銀。兮四九。四七 銀七。六九五 雜。二。二。

新二分判一個五十四錢三二

此新貨十一圓。八錢八五三

內 八錢三三六
十三錢。〇〇
一錢。一。九 費用前同

殘十。圓八十六錢四二八

慶長
享保 大判一個 七十四圓七十一錢六
天保吹増

慶長
享保 大判一枚 量目五十三兩六七
天保吹増
内 金三兩五錢五厘 位十分中 銀二兩四錢
銀三兩五錢四厘 位十分中 銀二兩四錢
此新貨七十六圓十四錢七三九
五十錢一
内 七十八錢一五三
七錢六一四
費用前同
殘七十四圓七十一錢八六二

元祿大判 一個 五十四圓七十一錢一

元祿大判一枚 量目五十三兩四
内 金三兩七錢六厘 位十分中 銀二兩四錢
銀三兩五錢四厘 位十分中 銀二兩四錢
此新貨六十一圓四十一錢九二九
四十錢一
内 六十三錢一
六錢一四
費用前同
殘五十九圓二十七錢一〇二

新大判 一個 二十四圓六錢六八

新大判一枚 量目三十三兩九
内 金三兩四錢六厘 位十分中 銀二兩四錢
銀三兩五錢四厘 位十分中 銀二兩四錢
此新貨二十八圓八十二錢九八八
二十錢六
内 三十一錢八
二錢八八二
費用前同
殘二十八圓二十六錢六八

安永二朱銀 一個 四十錢二六

安永二朱銀十兩 量目三十三兩九
内 銀三兩五錢二厘 位十分中 銀二兩四錢
此新貨三十二圓八十九錢六四二
六十五錢七九三
内 三錢二九
鑄造料
試驗料
殘三十二圓二十錢五五九

文政二朱銀 一個 二十九錢六七

文政二朱銀 十兩量目十九分三七九
內銀十分九二分 位十分中 銀九七八。
此新貨二十四圓二十四錢五九九
雜。二二。

內 四十八錢四九二
二錢四二四 費用前二同

殘二十三圓七十三錢六八三

文政一朱銀 一個 十。錢三五

文政一朱銀 十兩量目十三分五三九一
內銀十三分八五五五分中 銀九七四、七
此新貨十六圓九十。錢九六七
雜。二五三

內 三十三錢八八九
一錢六九一 費用前二同

殘十六圓五十五錢四五七

古一分銀 一個 三十四錢七。

古一分銀 十兩量目一分五四三五
內銀十分五五二位十分中 銀九九一、四
此新貨十四圓十七錢七四六
雜。八六

內 二十八錢三五五
一錢四一八 費用前二同

殘十三圓八十七錢九七三

一朱銀 一個 七錢四。

一朱銀 十兩量目九分七四五三五
內銀九分三三五位十分中 銀九六七、八
此新貨十二圓。九錢七三
雜。三二二

內 二十四錢二八三
一錢二。九 費用前二同

殘十一圓八十三錢七八一

一分銀 一個三十一錢二七

一分銀 十兩量目十二分二五。四
内銀九分九厘六位十分中 銀八九三。
此新貨十二圓七十三錢六七四

内 一錢二七四 費用前二同
殘十二圓四十六錢九二七

安政二朱銀一個四十六錢五一
大形

安政二朱銀十兩量目三十五分二五。
大形 内銀三九分六厘七位十分中 銀八四四六
此新貨三十八圓。九七。
内 一錢八。一 費用前同
殘三十七圓二十一錢一五。

○造幣規則第十條貿易銀鑄造手數料減方之事

明治七年九月七日太政官第九十五號布告
造幣規則第十條貿易銀鑄造手數料ハ来ル十一月十六日ヨリ當分ノ内百ニ付一、半ニ改定候條此布告候事

○貿易銀增量鑄造之事

明治八年二月廿八日太政官第三十五號布告
大阪造幣寮ニ於テ是迄鑄造ノ一圓銀今般更

貿易銀

料鑄造	品位公差	量目公差	品位	徑尺
百分ノ一、半	純分 十二付 二	一枚ニ付 一ダレイン	銀九銅一	日本 英吉利 一寸二分四厘 一インチ五
				日本 英吉利 七タニ分四厘五 四百二十ダレイン

龍王堂山本松雲寫銅刻

來從一圓銀

徑曲 尺	日本 一寸二分四厘 英吉利 一インチ五	量目	日本 七又一分七厘六 英吉利 四百十六グレイン	品位	銀九 銅一	量目	一枚二付 一グレイン半	品位 公差	純分 千二百二	鑄造 料	百分ノ二
---------	------------------------------	----	----------------------------------	----	----------	----	----------------	----------	------------	---------	------

○同上ニ付内外人民輸入之銀地金所分之事

今般太政官第三十五號公布貿易銀增量改正
ニ付大阪造幣寮ニ於テ來ル四月一日以來内
外人民輸入ノ銀地金受取候分ハ右改正貿易
銀ニ鑄造相渡可申候條此旨布達候事

○磨損等ノ貨幣引換方之事

明治八年三月九日大藏省甲第六號達

磨損金銀貨幣再鑄ノ儀ハ貨幣條例中造幣規
則第十三條ニ掲載シ錯或ハ割目等ニテ流通
不便ノ定位貨幣引換ノ儀ハ太政官壬申第三

百五十三號ヲ以テ公布ノ旨モ有之候處猶一
層人民便利ノ為メ火災等ニテ焚燒シ流通不
便ノ金銀貨幣ヲモ相當手数料ヲ定メ東京大
阪ハ第一國立銀行其他府縣ハ銀行又ハ為換
方等其地方便宜ノ場所ニ於テ引換可遣候條
此旨布達候事

○磨損等ノ貨幣引換手續書之事

明治八年三月九日大藏省乙第三十號達

流通不便ノ金銀貨幣交換手續書別冊相渡候

條地方廳便宜ニ任セ銀行或ハ為換方等へ申
付右手續書ニ準據シ交換可取計候此旨相達
候事

○
流通不便金銀貨幣交換手續書

第一條

流通不便ノ貨幣ヲ分テ磨損、焚燒、錆、破目、音響
惡シキノ五種トス今之ヲ尤ニ類別シテ其概
畧ヲ示ス

第二條

磨損ハ年月ヲ經タルカ為メ交通ノ間自然ニ
招レ損シタルモノニシテ故意磨擦スルモノ
ヲ云フニ非ス

但故意磨擦セルハ勿論自然ノ磨損ト雖モ
極印ヲモ見定メ難キ程ノ分ハ地金ト見做
シ交換セサルヘシ

第三條

焚燒ハ火災又ハ誤テ火中ニ落シ入レ其全形
ハ存スレ共本色ヲ失ヒ交通シ難キヲ云フ
但燒爛シテ形ヲ失ヒ或ハ之カ為メ極印見

定メ難キカ又ハ數個一併ニ燒爛シテ塊ト
ナレルハ假令半面ニ貨幣ノ全形ヲ存スル
共總テ地金ト見做シ交換セサルヘシ

第四條

鍮ハ包紙ノ糊貨幣ニ觸ル、カ又ハ濕氣ニ觸
ル、カ為メ酸化シテ生スルモノニシテ稀ニ
ハ銀貨幣中ニアレトモ至テ少ナシ

第五條

貨幣中破目アリ又ハ音響惡シキハ一時検査
ノ届カサルモノヲ偶然發行シタルモ測リ難

シト雖モ是又至テ少ナシ且發行中誤テ堅重
物ニ壓觸シ破損セシ貨幣モ亦此部ニ屬ス

第六條

以上四个條中ニ屬スル貨幣ヲ以テ交換ヲ申
出ル時ハ先其貨幣ノ種類ヲ分チ本位金貨貿
易銀貨ハ第七條第八條ニ據リ補助銀貨ハ第
九條ニ據リ交換ヲ為スヘシ

第七條

本位金貨貿易銀貨ノ第二條第三條ニ屬スル
モノヲ交換スルハ可成精密ナル秤量器ヲ以

之ヲ掛改ノ左ノ算則比例ニ據リ其重量ノ内ヨリ再鑄費用ヲ引去リ殘ル所ノ量目ヲ貨幣ニ積リ之ヲ所持人ニ附與スヘシ

但右檢査其他手数料トシテ交換高千分ノ一則百圓ニ付十錢ノ割ヲ以別段持主ヨリ出サシノ銀行又ハ為換方ノ所得トナスヘシ

○算則比例

一 鑄損或ハ焚燒 五圓金壹枚

此量貳匁貳分壹厘

壹圓貳圓拾圓貳拾圓何レモ同例トス
但五圓金一枚定重量二匁二分一厘八毛三三ナリ
今假令其内八毛三三六磨損焚燒ノ為減却
セハト見做ス實地ニ於テハ多少減重量アルヘシ

内

壹厘壹毛。五 千分ノ五、再鑄費用

殘量二匁一分九厘八毛九五

此通貨四圓九拾五錢六厘

但一圓金定重量四分四厘三毛六七ナリ以テ
殘量ヲ除シ厘以下八四捨五入スヘシ

一 磨損或ハ焚燒 貿易一圓銀一枚

改正増量貿易銀モ同例トス

此量七匁一分七厘六毛

但定重量ヨリ減却セサルモノト見做ス
實地ニ於テハ多少減重量アルヘシ

内

七厘一毛七六 千分ノ十再鑄費用

殘量七匁一分。四毛二四

此通貨九十八錢一厘

但改正増量貿易銀定重量七匁二分
四厘五毛ヲ以テ殘量ノ除ス

第八條

本位金貨貿易銀貨ノ第四條第五條ニ属スル
モノハ類ニアラサレハ一枚ヲ以テ一枚ト交
換シ再鑄費用等受取ラサルヘシ
但右検査其他手数料ハ第七條ト同様タル
ヘシ

第九條

補助銀貨五拾錢貳拾錢拾錢五錢ノ第二條ヨリ第五條ニ
属セルモノハ一枚ヲ以テ一枚ニ交換シ再鑄
費用等受取ラサルヘシ

但右検査手数料ハ第七條ト同様タルヘシ
ト雖モ交換高一圓以下ハ都テ一厘ノ手数
料トス

第十條

地方廳ニテ交換セシ前文四个條ノ貨幣ハ明
細帳ヲ添ヘ毎年六月東京國債寮ヘ送致スヘ
シ尤東京大阪ハ第一國立銀行ヨリ其時々國
債寮ヘ差出シ代リ金ヲ受取ルヘシ

第十一條

右交換元金及ヒ送致ノ入費ハ都テ豫備金ニ

テ立替置キ明細帳當省へ差出シ別途受取方
申立ヘシ

明治八年三月

大藏省

○舊貨幣交換算則之事

明治八年三月廿三日大藏省乙第三十九號達
太政官明治七年第九十三號布告相成候舊貨
幣價格表面一個ノ價毛糸ノ位ヲ附シ有之候
高一個毎四捨五入ノ法ヲ以厘位ニ止メ公納
或ハ交換取計可申此旨相達候事

○造幣規則改正之事

明治八年四月廿日太政官第六十二號布告

造幣規則之儀ハ明治四年五月中創定并其後
改正追加共及布告置候處猶又工業ノ進步ニ
從ヒ今般別紙ノ通改定候條此旨布告候事

但新貨條例ハ追テ改正布告可及事

改正造幣規則ハ既ニ貨幣條例
中掲載有之ニ付爰ニ畧ス

○貿易銀數位之事

明治八年四月廿二日太政官第六十二號達
 本年貳第三十五號ヲ以テ布告候貿易銀ノ數
 位ハ何枚何分何厘ト計算簿記可致此旨相達
 候事

是歲明治八年六月廿五日太政官第百八号
 ヲ以テ貨幣條例ヲ頒布セラル

造幣寮創業ヨリ明治八年三月卅一日迄
 金銀銅貨幣鑄造高

貨幣名稱	量 オンストロイ	數	價格 圓錢
二十圓金	四九四・一九四	四六・九六	九二・九二〇〇
十圓金	一〇・一四三七四〇	一八六八・八六〇〇	一八六八・八六〇〇
五圓金	一四一・四四八八	五三六六・九七三	二六三・三四八六五〇〇
二圓金	九四・七三三六六	八八三・四四二	一七六六・八八四〇〇
一圓金	一〇・八七五六七〇	二〇・二九五五四	二〇・二九五五四〇〇
總計	二六六五・三六四三八	一〇・九四八八五	四九七四・一七八三〇〇
一圓銀	四二一四・八一六八	四七四六・六九六	四七四六・六九六〇〇

五拾錢銀	三、二八八、二五八、六	八〇、一六六、四	四〇、〇〇、八三二、〇〇
二拾錢銀	二、三四三、一六一、〇二	一三、九八〇、八八五	二、七九六、一七七、〇〇
拾錢銀	一、八七〇、六二三、五八	二、〇五九、二六三	二、〇五九、二六三、〇〇
五錢銀	七、四九九、三五六、六	一、七、六三九、三八七	八、八一、九六九、三五
總計	二、三六六、七九、一〇	六、六四二、七八九、五	一、四六三、一六〇、六五
二錢銅	三、三五五、三二、〇四	七、三三一、一四九	一、四六六、三三九、八
一錢銅	八、三三二、三四一、八七	三、六二五、九二、八三	三、六二五、九二、八三
半錢銅	二、六三七、三六四、〇	二、二九五、五九八、八	一、一四七、七七九、四
一厘銅	一、六七、九七五、八九	九、二五四、三〇、〇	九、二五四、三〇、〇
總計	一、四、五七三、九六五、二〇	七、五八〇、〇、七二〇	六、三三二、五〇、〇五

舊貨幣鑄造高并年限表 旧金座入佐藤忠三郎編纂

舊貨幣名稱	一枚量目	鑄造高	鑄造年限
慶長金	小判 一分判	一、四七二、七〇五、五〇〇 大九、四	自慶長六年 至元禄八年 九十五年
元禄金	小判 一分判 二朱判	一、三九三、六二二、〇二五 〇	自元禄八年 至寶永七年 十六年
乾字金	小判 一分判 二朱判	二、五二五、五〇、〇〇 〇	自寶永七年 至正徳四年 五年
武蔵判	小判 一分判	二、二三五、〇〇、〇〇 〇	正徳四年中
享保金	小判 一分判	八、二八〇、〇〇、〇〇 〇	自享保元年 至元文元年 二十一年

天保金	五兩判	古貳朱金	貳分判 ^{草文}	壹朱金	文政金	元文金
一分判					一分判	一分判
〇三 七五	九〇	〇 五五	一七五	〇 三七五	一〇三 八七五	〇三 八七五
八二〇、四五〇	一七二、二七五	二八八、三七〇	二〇三、三〇六	二九〇、一九二	一四〇、二九、三八二	一七、四三五、七一二
〇〇	〇〇	二五	五〇	〇〇	〇〇	二五
至自 天安政保 二五年八 十二年	至自 天同保 七年十 四年八 年	至自 天安政保 二五年三 年	至自 天同保 五年三 年	至自 天同保 九年三 年	至自 天同保 十一年 年	至自 天同保 十三年 年

元祿大判	慶長大判	大阪吹貳分判	新	新	正字金	安政貳分判
			二分判 二朱判	小判 一分判	小判 一分判	
四一〇	四一〇	〇八〇	〇〇 二〇	〇〇 二二	二四〇 六〇	一五〇
三、〇〇〇	不詳 ^枚	六〇八、〇〇〇	五三、四、五六〇	六二五、五〇〇	三五、〇〇〇	三五五、六〇〇
至自 元祿八 十二年	至自 元祿八 十九年	明治元年中	至自 萬治二 十年	至自 萬應三 八年	安政六年中	至自 安政三 五年

貨幣條例備考

享保大判	四一。	八五五	自享保元年 至天保八年
天保大判	四一。	一八八七	自天保元年 至萬延四年
安政大判	三〇。	一七、九七	自安政元年 至文久二年
古二朱銀	二七。	五九三、〇〇 兩	自安政元年 至文政七年
文政二朱銀	二〇。	七五八、〇〇	自文政元年 至天保七年
古一朱銀	〇七。	八七四、五〇	自天保元年 至文政八年
古一分銀	二三。	一九七、九一	自天保元年 至安政八年

六十三

新一朱銀	〇五。	九九五、八〇	自安政元年 至慶應元年
新二朱銀	三六。	八八三、〇〇	安政六年中
新一分銀	二三。	二八四、九〇	自安政元年 至明治元年
一分銀 亞鉛差	二三。	一〇六六、八三	自明治元年 至同治二年
吹繼一朱銀	〇五。	二二七、四〇	自明治元年 至同治二年
銅貨 銅貨	輕重平均 七二	不詳 引換率 二二四、二四六、三三	自寬永十三年 至明和三年
錢小錢	〇八。	六三三、六九四	自元文四年 至慶應三年

貨幣條例備考

六十三

仁孝修例備考

名稱	總量目	鑄造年限
真鍮錢	一三。 一五七、二五、三六。	自萬和四年 至九十四年
天保錢	五五。 四八四、八〇、五四	自天明六年 至三十四年
文久錢	九。 八九一、五、六三	自文久二年 至慶應三年
鎮四文錢	輕重平均 一三。 一〇、八七、六二	自萬治元年 至明治九年
慶長銀	一二〇〇、〇〇〇、〇〇〇。 々	自慶長六年 至元禄十五年
元禄銀	四〇、五、五〇、〇〇〇。	自元禄八年 至寶永三年

寶永銀	二七、八一三、〇〇〇。	自寶永三年 至同寶永七年
永字銀	五、八三六、〇〇〇。	寶永七年中
三ッ寶銀	三七、〇、四八七、〇〇〇。	自寶永七年 至正徳元年
四ッ寶銀	四〇、一二四、〇〇〇、〇〇〇。	自正徳元年 至同正徳二年
享保銀	三三、一四二、〇〇〇、〇〇〇。	自正徳四年 至元文三年
文字銀	五二、五四六、五九、〇〇。	自元文三年 至文政元年
五匁銀	一八、〇六四、〇〇。	自明和二年 至安永元年

貨幣の価値

年三

新文字銀	二二四、九八一、九〇〇	自天文保政 十八年三年
保字銀	一八二、〇八〇、〇〇〇	自天安保 二十五年八年
政字銀	一〇、二九、七〇〇、〇〇〇	自慶應元 七年六年

造幣寮舊外國首長「メジョル、キンドル」氏英國
第三週年報告書抄譯 明治七十四年

外國金銀貨幣價格概表

日本金圓ヲ以テ比較シタル外國金貨ノ價格概
表

但此價格中ヨリ造幣手數料差引ヘシ又時ト
シテハ試驗鎔解費及精製分析費ヲモ引去ル
ヘシ

國名	貨幣名稱	量目 「トレイ」	千分中品位 純金	換金價 價格
澳地利	ダユカツト	五三八五	九八六〇〇	二二九三六
同	ソーウェーレン	一七四八七	九〇〇〇〇	六七九八四
同	四フロリン	四九九二	九〇〇〇〇	一九四〇七
白耳義	二十五フランク	一二二一四	九〇〇〇〇	四七四八四
同	二十フランク	九九五〇	九〇〇〇〇	三八六八三

貨幣の価値

年三

佛蘭西	二十フラン	九九五	九〇〇〇	三八七〇六
希臘	二十ドラクム	八八八	九〇〇〇	三四五二三
不列顛	ソフレン	一二三二七	九一六六六	四八八一
同	半ソフレン	六二六三	九一六六六	二四四〇三
獨逸	二十マルク	一三三九二	九〇〇〇	四七七八七
同	十マルク	六二四六	九〇〇〇	二三八九四
同	十ターラア	二〇六三三	九〇二〇〇	八〇三五〇
伊太利	二十リル	九五五	九〇〇〇	三八七〇六
印度	モホル(十五ル)	一八〇〇〇	九一六五〇	七二二六二
墨西哥	古ドブロン	四六二六	八七〇〇〇	一五六三九七

伯西爾	二十ミルレ	二七六七	九一六六六	一〇九五六四
中央亞米利加	ニエスキュード	九七〇〇	八四五〇〇	三五四〇六
同	ペソ	二四〇〇	九〇〇〇〇	〇九三三〇
同	四レール	一二九六	八七五〇〇	〇四八九八
智利	十ペソ	二六六六	八九八〇〇	九一六〇八
南亞米利加一般	ドーフルン	四六六六	八七〇〇〇	一五六五八五
丁抹	十ターラア	二〇五〇〇	八九五〇〇	七九二五五
同	新二十クラウン	一三八二四	九〇〇〇〇	五三七四三
埃及	百ピアストル	一三三〇〇	八七五〇〇	四九八九二

[illegible]

同	同	同	同	同	和 ニ ゼ ル ラ ン ド	同	同	同
新 ド ー ブ ロ ー ン	新 東 蘭 拿 達	寧 波 列 士	同	同	蘭	新 ド ー ブ ロ ー ン	二十ベツ (共和政令)	二十ベツ (マツクス)
四一六五〇	四一六五〇	四一九二	二十リル	五ギユルドル	一〇三八二	四一七七〇	五二九〇〇	五二一〇〇
八五八〇〇	八九六〇〇	九〇〇〇〇	六ギユカチ	五ギユルドル	九〇〇〇〇	八七〇五〇	八七三〇〇	八七五〇〇
一五四三六六	一五六五三五	七七四二	二六六六	五ギユルドル	四〇三六三	一五七六六	一九五七二八	一九六九三

イ
ニ
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

同	土ニ	土耳	同
新ニクラン	二十五ピアストル	百ピアストル	ニドルラル
一三八二四	七七八	一一三五	二五八〇
九〇〇〇	九〇〇〇	九二六〇	九〇〇〇
五三七三	三〇〇四	四四〇五九	二〇〇六五
一〇〇三〇			

日本貿易銀
ニ但四
ノ價格概表
テヤ
價
格
ト
ル
比
較
ス
今
改
正
増
量
貿
易
銀
ヲ
以
テ
改
其
セ
リ

國名	貨幣名稱	量目	千分中	銀分	換貿易銀
澳大利	古リキドルラル	四三三六	八三三	〇	九五四一
同	古スキード	四〇一二八	九〇二	〇	九五七六
同	フロリン	二一六四八	八三三	〇	四七七一
同	新フロリン	一九五六	九〇〇	〇	四五三七
同	新ニランドラル	二六〇八	九〇〇	〇	六八一
同	ドルラル	四二九六	八三八	〇	九五二四
白耳義	五フランク	三五四四	八九七	〇	九一四七
同	ニフランク	一五三六	八三五	〇	三三九三
額利布亞	新ドルラル	三八四八	九〇〇	〇	九一五四

イ
ニ
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

六十八

日本銀行
兌換率
明治三十四年
四月一日

佛蘭西	埃及	丁抹	支那	同	智利	中央亞米利加	同	加納達	伯西爾
五フランク	新ピアストル	ニグストアラ	香港元	新ドルラル	古ドルラル	ドルラル	二十五セント	二十セント	ニミルレー
三八四〇〇	一九二〇	四四九六	四一六〇	三八四八	四四七二	四五六八	九〇〇	七二〇	三九三六
九〇〇〇	七五〇〇	八七七〇	九〇〇〇	九〇〇五	九〇八〇	八五〇〇	九二五〇	九二五〇	九一八五
〇	〇	一〇三二四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
九一四三	〇三八三	〇	九九五	九一五九	九九六二	九三四七	二二〇二	一七六二	九五六四

明治三十四年
四月一日

同	獨逸 ^{ゼルマニ}	同	同	同帝 ^{セルマインバール} 國	不列顛 ^{グレートブリテン}	希臘 ^{キリ}	印度 ^{イン} 斯 ^ス 坦 ^{タン}	伊太 ^{イタ} 利 ^リ	同
ニフランク	逸 ^イ タアラ ^{タアラ} (至十八百五十七年)	新タアラ	フロリン	新五マルク	シルリンク	五ドラクム	ルビー	五リル	リラ
一五三六〇	三四一七六	二八五六〇	一六三二〇	三八五九二	八七六〇	三四五一二	一七九五二	三八四〇〇	七六八〇
八三五〇〇	七五〇〇〇	九〇〇〇〇	九〇〇〇〇	九〇〇〇〇	九二五〇〇	九〇〇〇〇	九一六五〇	九〇〇〇〇	八三五〇〇
〇三三九三	〇六七八一	〇六八〇〇	〇三八八六	〇九一八九	〇二一四四	〇八二一七	〇四三三三	〇九一四三	〇一六九七

日本銀行
兌換率
明治三十四年
四月一日

明治三十四年
四月一日

貨幣條例施行規則
 第三章
 貨物及貨物運送
 第三節
 貨物運送
 第三條

同	トレドル	四二〇〇	九〇〇〇	一〇〇〇
同	半ドル	一九二九	九〇〇〇	〇四五九三
同	四半ドル	九六四五	九〇〇〇	〇二二九六
同	ダイム	三八五八	九〇〇〇	〇〇九一九
同	半ダイム	一九二〇	九〇〇〇	〇〇四五七

右各貨幣ノ量目及ヒ品位共ニ報告ノ割合ヨリ
 定メタルモノニシテ實際之ヲ試験セシ既ニア
 ラス
 此表ハ「ヲノレーブル、エーチ、アール、リンドルマ

レ氏一千八百七十二年三年間ノ年報ニ掲載セシ
 モノヲ引援セリ

皇國造幣寮首長

トーマス、ウエルレヤム、ギンドル